

アグリセミナー先進農家研修を開催

7月24日（金）、坂東地域アグリセミナー「先進農家研修」を開催しました。今回の講座では坂東市内の先進農家2軒を訪れ、夏ネギの生産方法について研修をしました。本講座は県西3地域の広域講座として開催し、筑西・結城地域の受講生を合わせ22名が参加しました。



1軒目の農家では、ネギのほ場を見学し、これからネギを始めるポイントとして、ネギは収穫時期によって品種が異なること、ネギ栽培マニュアルをもとに防除を心がけることなどの、説明を受けました。また、2軒目の農家では、ネギ・レタスに用いる機械と雇用を入れた大規模経営について研修しました。

研修会では、作業場の写真を撮影したり、積極的に質問をするなど受講生の関心の高さがうかがえました。



農産加工講座（食品表示）を開催

8月6日（木）、当普及センターで食の安全対策推進室の講師を招き、平成27年4月1日に施行された、「食品表示法」についての研修を行いました。

新法は、これまでのJAS法、食品衛生法、健康増進法の義務表示の部分を一元化したもので、現行より安全でわかりやすい表示を目指して、施行されたものです。さらに、新法のもとで機能性表示食品制度も導入されました。

新法の大きなポイント

- ・原材料と食品添加物を区分して表示
- ・ナトリウムの表記が食塩相当量に変更

他にも一括表示欄の表示項目が細かく見直され、製造所固有記号、アレルギー表示、などのルールが変更されました。加工食品等の新ルールへの経過措置期間は5年（生鮮食品は1年半）で、その間に新制度への移行が求められます。

普及センターでは、今後も農産加工に取り組む農業者の活動を支援していきます。



農業には若さがある！



このコーナーでは、若手農家を訪問して、農業に対する思いなどをインタビューしています。今月は古河市大山の北島真史さんをご紹介します。北島さんは就農4年目で、ご家族と一緒に、キュウリ・トマト・ナス・ズッキーニなど多くの品目を栽培しています。

「どうして就農しようと思ったのですか？」

もともと農業に興味がありました。メーカーに就職しましたが、結婚を機に就農しました。

「就農してからの心持ちはどうですか？」

就農前は、全く畑に触れることはなかったので、農業機械を使ったり、作物を収穫したりすることはとても新鮮で、少しカルチャーショックを受けました。

「今頑張っていることや心がけていることはありますか？」

天候によって作業が遅れたり、収穫時期を逃すと収量に影響があるので、年間を通して適期に作業ができるよう心がけています。

「農業の楽しいこと、つらいことは何ですか？」

サラリーマンと違って、家族と一緒にいられる時間が多くなりました。県外出身ですが、農業青年クラブに加入して仲間が増え、困った時に周りからアドバイスをもらえるようになり、とてもありがたいです。また、夏の時期は、暑い中での収穫や出荷作業が大変です。



～北島家の庭にて～

「これからの目標は何ですか？」

今後規模を拡大して、1年間を通して出荷量を多くしていきたいです。

「最後に一言お願いします！」

まだまだ未熟者ですけど、自分なりに努力して良い野菜を作っていきたいです。



取り決めの内容は
さまざま

さらに魅了ある職場に

家族ひとりひとりの
思いを



我が家の協定結びませんか？



「家族経営協定」とは農家生活・農業経営をより良くするための家族間のルール作りです。家族経営の中で『個人』の立場を大切にし、給料の支払いや休日、老後の生活保障等の話し合いを進め、協定書を作ってみましょう。それぞれの役割や働く条件が明確になり、責任ややる気が増し、スムーズな農家生活の運営と経営の向上に役立ちます。

詳しくは普及センターまでお問い合わせ下さい。

熱中症にご注意を！



残暑が続いていますので、熱中症には十分お気を付けください。こまめな水分補給と休憩を心がけましょう。熱中症予防声かけプロジェクト (<http://www.hitosuzumi.jp/>) をご覧ください。